

駅伝シーズン開幕戦—

ゴール寸前で優勝を逃した
昨年の悔しさを今、晴らす

2009.10.12

第21回

出雲駅伝開幕!



フジテレビ系列で
全国生中継
13:00~15:25(予定)

勢いよくスタートする星=写真は20回大会のもの

第21回出雲全日本大学選抜駅伝競走が、10月12日に行われる。毎年体育の日に行われるこの大会は、大学駅伝シーズンの開幕戦でもある。3大駅伝のうち、全日本大学駅伝や箱根駅伝は予選会で出場権を獲得するシード制なのに対し、出雲は各地域からの代表選抜制をとっている。それに前回大会の上位3校がシード校として加わり、合計21校で争う。昨年準優勝の駒大は、自動的に参加資格が認められている。出雲は全日本や箱根と比べ、総距離が45km以下と短く、順位変動がめまぐるしいスピード駅伝となる事が多い。出雲大社正面鳥居前からスタートし、6人の選手がタスキをつないでゴールの出雲ドーム前を目指す。今年からコースが一部変更となり、新たな第3、4中継所が設けられた。各区間の距離が変わった

ため、選手の起用方法も大幅に変わることが予想される。1番の見どころは最終6区。最長区間であり、各チームのエースが集い意地をぶつけ合う。フィニッシュ間際ではまさかの逆転劇が見られることも。最初にゴールテープを切るのはどのチームなのか、直前まで目が離せない。

今季注目なのが、昨年から急成長を見せている3年の飯田だ。夏合宿では高林・宇賀地らと同じチームで練習を積み、大八木弘明監督が一押しするほどの実力をつけてきた。さらに、1年生カルテットの上野、千葉、久我、後藤田や、入学後から頭角を現している攪上など、新戦力の活躍にも期待できる。昨年悔しい思いをした4年の宇賀地らに加え、これらの注目選手で織りなす新チームでリベンジを狙う。

(石田 友里)

日本大学

2連覇がかかる前回の覇者・日大。昨年は最終区に登場したギタウ・ダニエルが、1分29秒差を縮める逆転劇を見せた。出雲優勝メンバーが5人残る今回、逆転の6区までどれだけ粘れるかがカギを握る。

明治大学

箱根駅伝で43年ぶりのシード権を獲得した明大が初出場。チームを引っ張るのは松本、石川の4年生コンビだ。勢いそのままに出雲に挑む。

東洋大学

怪物ルーキーと呼ばれた柏原竜二を有する東洋大。柏原は今季入っても関東インカレで5千位、1万位共に日本人トップに立つ実力を見せている。宇野、大津などの箱根優勝メンバーを中心に、上位を狙う。

早稲田大学

早大は箱根駅伝にも出場し、さらに経験を積んだ2年生の矢澤、八木、三田に注目だ。キャプテンの尾崎も今季、関東インカレでハーフマソン日本人1位の2位に入る活躍。層の厚さで上位進出に期待がかかる。

第一工業大

昨年3位の実績を誇る第一工大。日本インカレでも好走し、ダニエル(日大)に次ぐ2位でゴールしたキラグ・ジュグナの走りに注目だ。

注目校分析!